

【所信】

昨年、栃尾青年会議所が誕生して50周年という節目の年を無事に迎えられることが出来ました。これも今いる現役メンバーが日々JC活動に邁進してきた結果であると同時に先輩諸氏らが積み重ねてきた歴史のバトンを今のJCメンバーに力強く渡して頂いた賜物だと考えます。ですが、我々は大きな一つの区切りを迎えたと同時にまた新たな一步を踏み出さねばなりません。

私たちJC活動の基盤である会議の円滑な設営・運営管理をしっかりと行いメンバーの貴重な時間が一分一秒でも多く議論に費やされることにより、より魅力的で素晴らしい事業になるよう努めて参ります。

栃尾JCの活動は先輩諸氏の過去から今いる現役メンバーまで胸を張り誇れるものであり、その地域を想う活動をより多くの人に知っていただくために継続してブログ・SNS等を活用しての広報活動を展開し一人でも多くの人々の心に残るよう伝えて参ります。

本年度の栃尾青年会議所の体制は去年の3委員会から2委員会に変化を余儀なくされました。各種事業もこれまで通り継続できるかも危ぶまれるのが現状です。私たちはこれまで先輩諸氏が歩んできた歴史を次世代に繋いでいかななくてはなりません。そのためには会員拡大に心血を注ぎ、まだ見ぬ未来の栃尾JCメンバーに我々の活動の魅力を感じていただく事が重要です。

田辺理事長が掲げるスローガン『New Wave』とは時代の転換期に起こり、それまでであった主流の考えや物がマイナーに変わり、新しい考えや物が主流へと置き変わっていく現象。今、栃尾JCは50年と長い歴史の中でもかつてない転換期にあるのだと考えます。「昔からやっているから続けなければならない」「あの団体にはこれだけの配慮をしなければいけない」と言った昔ながらのシガラミによってJCメンバーのモチベーションを下げ本当に必要な事業に時間を割けないようでは本末転倒ではないでしょうか。2020年、栃尾JCメンバーは12名という今までにない少人数での船出となり現実的にこの少人数では出来ることは限られてくると考えます。苦渋の決断ではありますが、やるべき事はやり、時代に合わないものはやめ、時代に合った新しい波を積極的に取り入れていくべきだと考えます。私個人の考えではありますが少人数ならではの強みは縦や横の繋がり関係なく、JCメンバーの一人ひとりの意見・選択・決断がそのまま栃尾JCの総意になるダイレクトさではないでしょうか。

最後になりますが、あたえていただいた責務を精一杯務めて参ります。皆様からのご指導ご協力ご鞭撻を宜しくお願い致します。

【事業計画】

- 会員手帳の作成 [第5号事業]
- 各地周年、各種大会及び事業・会議への引率 [第4号事業]
- 各会議・諸事業の出欠、運営管理 [第5号事業]

- | | | |
|----|-----------------------|---------|
| 39 | ○各事業の記録、保管 | [第5号事業] |
| 40 | ○理事会及び総会の議事録作成 | [第5号事業] |
| 41 | ○財務に関する事項 | [第5号事業] |
| 42 | ○「城山」の配信 | [第4号事業] |
| 43 | ○ホームページ及び各SNSの運営管理・更新 | [第4号事業] |
| 44 | ○新年会及びシニア交流パーティーの開催 | [第4号事業] |
| 45 | ○ファミリーパーティー | [第5号事業] |
| 46 | ○卒業スピーチ及び卒業セレモニーの開催 | [第5号事業] |
| 47 | ○会員拡大 | [第5号事業] |
| 48 | ○その他 | |